

もっと走る もっと運ぶ もっと稼ぐ

FUSO

2019 Jan. Feb
01.02

magazine No.67

CEO ハートムット・シック
信頼の絆をつなげる





カホク運送株式会社
代表取締役: 佐藤俊一

IT管理による物流システムの構築で ドライバーに安心感と負担軽減を

2011年3月11日に発生した東日本大震災で、当時、宮城県石巻市に本社を構えていたカホク運送株式会社は社屋を流されるなど大きな被害を受けた。
再建にあたり事業計画を見直し、業績に反映させた同社佐藤俊一代表取締役に話を伺った。

当社の業務は関東と関西をメインとする幹線輸送で、主に一般雑貨や冷凍食品、水産物を運んでいます。初代は材木、二代目が農協関連や水産品、私の代になって輸送量の季節変動が大きい水産品から、通年運べる一般雑貨に徐々にシフトしました。

現在、仙台市内に本社を構えています。震災当時は石巻市の海岸沿いに本社がありました。会議中に大きな揺れが襲い、窓から海の水位が下がり海水が引いていくのが見えました。「津波が来る！」と直感し、社員とトラックを高台にすぐ避難させましたが、夢も希望もなくなるような現実が、目の前に広がりました。

そんな状況で私が最初に考えたのは、従業員の雇用を守ることでした。皆が生き抜かなくてはなりません。これからは幹部中心ではなく、社員全員で組織を作ろうと提案して賛同をもらい、再建を始めたのは震災の1週間後。幸いトラックは無事でしたから、関東・関西からの救援物資の輸送が、再建の第一歩となりました。

—— 御社の業務内容と東日本大震災当時の会社の様子をお聞かせください。

皆が生き抜くために雇用を守り
一致団結して再建に向かう

C O N T E N T S



03

03 - Our Pride

カホク運送株式会社
代表取締役 佐藤 俊一



06

06

特集1
CEO ハートムット・シック

信頼の絆をつなげる

08

特集2
第4次産業革命に対応した真の「物流生産性革命」
「物流新幹線」計画



08

10 - 街角クリニック Vol. 1
笑いの処方せん

12 - ゆらりバス時間
「伊勢神宮 御朱印めぐり旅」

13 - 小湊鐵道
バス事業拡大に伴う安全対策の強化



12

14 - Front's Eyes
運行前には必ず点検を

15 - 一度は食べたい! 漁港めし Vol. 1
新潟漁業協同組合

From Editors

FUSO
magazine No.67
2019 January/February



表紙Photo: SUPER GREAT / AEROQUEEN
撮影用特別仕様車

©FUSO magazine 本誌掲載の記事、写真、イラスト等の無断複写、転載を禁じます



力の防止、運行状況の管理、働き方改革に沿った労務管理など、全てを運動することのできるからです。運転士たちの働いた結果をきちんと残してあげたいし、彼らを少しでも早く家に帰らせてあげたい、という理由もありました。以前は帰社後に報告書を作成させていましたが、今はシステムの運行状況の記録を印刷するだけです。また、仕事中の運転士は孤独だと思うのですが、常にＩＴシステムで彼らをサポートしているので、安心感もあると思います。

風通しの良い関係の構築 社員の家庭・生活を尊重する経営

——運転士・社員の皆さんに対してどのように接していらっしゃいますか？

私が彼らに言うのは「あいさつをしっかりとしなさい」「くらいです。以前は当社でやるべきことに、車をきれいにしようという項目がありました。洗車と車両点検を定着させるために、３～４年は私がデッキブラシを持って車両が帰ってくるのを待っていました。庫内の洗浄とか、洗うべきところを教えるためです。私は車両を大事にすることが、仕事や自分を大切にすることにつながると考えています。

事業の改善や新たな取り組みを始める

きには、幹部社員と率直に話し合い、方針を決めています。社内よりも気兼ねなく話せるということで、以前は居酒屋で話すことも多かったのですが、今ではだいぶ減りましたね。それだけ事業も落ち着いてきたのかもしれません。

運転士や社員には成長してほしいという気持ちで接しています。当社で自立できるような支援して、それが結果的に仕事につながっていくといい。また「基本しっかり休もう」というのが根底にあります。通常運送業だと、子どもの運動会や行事に行くのが難しいことも多いのですが、しっかり休んで参加して子どもたちにお父さんの存在を分かってもらわないとダメだよ、と言っています。彼らにも、子どもの成長が見られるようにしてあげたいと思っています。

——三菱ふそうの車両に代替をしていただきましたがいかがでしょうか？

２０１３年に仙台に本社移転以来、お願いしていた代替もようやく終わり、大型は全車両ふそう車になりました。毎日運転する車両は故障することもあります。何か起きたときに、いかに対処してくれるかが重要で。ふそう車を選んだ理由は、車の性能や担当者のスキルの高さです。また、予防整備が充実しているのも、気に入っていることのひとつです。



震災を契機に経営方針を見直し 合理化と数値の見える化を

——再建するにあたって、経営面など従来から変更したことはありますか？

以前は「生懸命頑張る」ということが社の方針で、経営理念や社は決めています。しかし被災したことで、いただいた仕事や環境に生かされていたのだと気づかされたのです。「今に感謝」「ここに全力」という社是を新たに作りました。今の環境に感謝し、各目の仕事分担を明確にして「層懸命に取り組もう」という意味です。

会計も財務会計から管理会計重視に切り替えました。管理会計の利点は１日ごとに経営数値を把握できることです。仕事を取ってきている側からすると毎日が勝負、過去の数字ではなく毎日の生きた数字が追えるので、経営上の計画や判断の材料として有効です。また、会計を各月末に締めて、税理士さんと売り上げの目標額や利益の数値を突き合わせて差異を分析します。数字が見えることで管理・目標が具体的になり、各部門の上司もそれを参考に方針を考えられることが、当社の強みのひとつです。

また県内の会社としては、ＩＴシステムを取り入れたのも早い方だと思います。導入したのは事務処理の合理化、伝票の二重入

Kahoku カホク運送株式会社



仙台市に拠点を置いてからの大きなメリットは、仙台・東京間の日帰りが可能となるなど、ビジネスエリアが広がったこと。現在は規模の拡大よりも輸送業務における付加価値の最大化に重点を置き、高品質の輸送に取り組んでいる。

宮城県仙台市
代表取締役：佐藤俊一
会社設立：昭和３２年
社員数：４０名
保有車両数：３０台

信頼の絆をつなげる



お客様と最適な関係を築いていく

——昨年4月に就任されて、改めてどのような事を感じていらっしゃいますか？。

三菱ふそうは長い歴史の中でお客様に優れた価値をお届けするために技術を磨いてきました。それらを引き続き発展させていくためには、常に進化し続ける世の中の動きに敏感に対応してゆく体制を作り上げていくことが必要だと強く感じています。

技術面では、すでに電気小型トラック「eCanteo」の量産を開始し、現在世界6ヶ国で始動しています。

また、2017年に発表した大型トラック「スーパーグレート」と大型観光バス「エアロクイーン／エアロエース」についてもお客様の要望に答える形で、機能をさらに熟成させたモデルを市場に投入し続けています。特に安全機能に関しては、すべての車種に関してドライバーや乗客を守る為の新機能を今後、順次投入していく予定です。

技術面以外にも、社員みんなが「チームとして働く」ことを意識して知識を共有し、情熱と目的を持って行動し、コンプライアンス、インテグリティを大切にしながら、最高の満足をお客様にお届けしていきます。最適な関係を築き、あらゆることに対し、前向きに取り組んで行くことが大切だと思っています。

先進技術で世界市場をリードしていく

——将来への展望をお聞かせください。

私たちは、モビリティの未来において最大の安全性を実現するとともに、事故のない運転というビジョンを実現したいと願っています。コネクティビティな環境下で、稼働中のトラックのリアルタイムな情報をお客様がチェックしたりデータの蓄積ができる「トラックコネクト」など、高度な運転支援機能などの先進技術で未来の車社会を形づくっていきます。

また、政府が進める「未来投資戦略2018」の一環として実験が行われた「トラック隊列走行の後続車有人システム実証実験」プロジェクトに参加するなど、環境問題やドライバー不足問題にも積極的に取り組んでいます。

2019年には大型トラック「スーパーグレート」にダイムラー社と共同開発したステアリング、アクセル、ブレーキを制御する自動運転機能（レベル2）や、アクティブ・ドレイブ・アシスト（ADA）、アクティブ・ブレーキ・アシスト（ABA）などの最新技術を導入する予定です。新技術によって輸送・物流業界の変革が進むなか、三菱ふそうは次代の新しい価値を生み出すために、最高クラスの快適性、安全性、経済性を実現すべく努力を続けています。

素晴らしい仲間と一緒に「ワンチーム」として明るい未来を築いていきたい

——組織をまとめていく為に大切にしていることをお聞かせください。

今や、三菱ふそうは日本国内販売以外にも、ダイムラー・グループの一員として、世界170ヶ国で製品を販売しています。その為のブランドがインドにあるダイムラー・インディア・コマーシャル・ビークル（DICV）と共に立ち上げたダイムラー・トラック・アジア（DTA）です。

私たちは文化的な違いを超え結果を生み出すことに重点を置き、「ワンチーム」として戦っています。良いチーム、正しいアイデア、そして情熱をもって素晴らしいチームと一緒に明るい未来を築いていきたいのです。

また、本年度は川崎工場第一敷地に本社機能、研究開発及び設計機能を集結するために建設した、新社屋「プロダクト・センタール」でさらなる業務の効率化を図ると同時に、工場内の既存設備の大規模リニューアルを行い、自動搬送機、次世代オートメーション、生産従事者を支援する作業ロボット、全ての物流を管理するITシステムの導入等、従業員の働く環境を改善していきます。そうして造り出した製品をお客様へお届けすることが、お互いの信頼につながり、絆をつなげることに繋がっています。

新年を迎えるにあたって、2018年4月に代表取締役社長・CEOに就任された、ハートムット・シック社長に2019年の抱負と次代への意気込みをお聞きしました。

1986年にダイムラー・ベンツAGにメカニカルエンジニアとして入社以来、33年間にわたってダイムラー・グループの一員として様々な分野で活躍され、ダイムラーバス部門（エボバス社）のCEOを経て、現在、ダイムラー・トラック・アジア（DTA）の最高責任者も務めておられます。



Hartmut Schick
President & CEO Mitsubishi Fuso
Truck & Bus Corporation and Head
of Daimler Trucks Asia

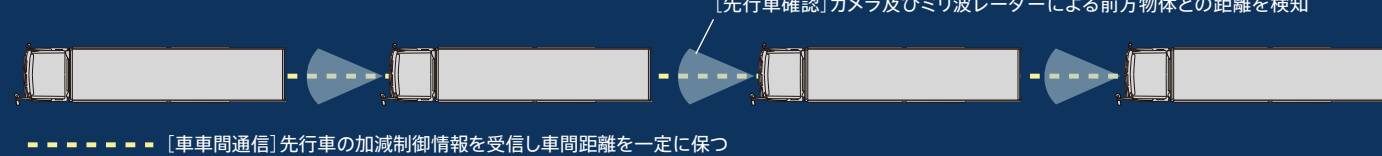
代表取締役社長・CEO 兼 ダイムラー・トラック・アジア最高責任者
ハートムット・シック

1961年10月5日生まれのハートムット・シックは、カールスルーエ工科大学で機械工学を学び、1986年に卒業しました。1986年ダイムラー・ベンツAGに入社し、1999年にはダイムラー・クライスラーAGのスタッフチーフを務め、2002年以降はダイムラー・グループのグローバルコミュニケーション部門を率いていました。2009年1月1日以来、EvoBus GmbHのダイムラーバスの最高責任者、2018年4月1日より三菱ふそうトラック・バス株式会社の社長兼CEOであり、ダイムラー・トラック・アジアの最高責任者も務めています。

「物流新幹線」計画



協調型車間距離維持支援システム(CACC)



高齢化、長時間労働、人手不足と厳しい状況が続くトラック輸送。
その解決策として、政府は無人自動走行による移動サービスを2025年以降早期に、
三菱ふそうも参加している高速道路のトラック隊列走行を
2022年に商業化することを目指しています。
現在注目が集まるビッグデータとAI、IoT、データサイエンス(DS)を駆使した
自動運転輸送による新物流システム「物流新幹線」計画につき、
(株)複合物流 代表取締役 筒井公平氏にお話を伺いました。

高速道路の隊列・自動走行のビジネス
化を目指す

——筒井社長が「物流新幹線」計画を練られた経緯をお聞かせいただけますか？

基幹物流を「人手不足問題」から解放する方法はないか？と考えたのがきっかけです。物流の最終区間であるラストマイルについては、宅配便の再配達急増で現場の負担が限界に達していると報じられ、話題になっていますが、真に注目すべきは高速道路による基幹物流の危機的状況です。人体でいえばラストマイルは言わば末梢血管、一方基幹物流は大動脈に当たります。全産業、消費経済の基底は基幹物流の主役である中長距離トラック便の支えにより何とか持ちこたえています。しかし、この底が抜けたら、まさに日本経済自身も「底が抜けた」状態となり、物流生産性改善どころの話ではなくなります。

——自動運転の実用化を巡っては世界的に競争が激化しており、日本でも早期実用化に向けた制度整備の動きが加速していますね？

国は、世界に先駆けた自動走行の社会実装により、日本の強みを活かし、交通事故削減、地域の人手不足や移動弱者の解消といった社会課題を克服しようと、交通ルールや

インフラ等の環境整備を加速しています。

2020年代〜2030年頃の実用化が期待される実証プロジェクトとして国が挙げているのが「隊列走行」「ラストマイル自動走行」「自動バレーパーキング」の3つです。

政府の「IT総合戦略本部」は2025年以降に「レベル4」段階のトラックを使った物流サービスを展開する方針を示しています。いずれの分野に於いても、重大な社会問題の抜本的な解決に向け、具体的なビジネス化が図られなければなりません。それは、高速道路の隊列・自動走行の分野に於いては、単に物流の問題に限らず、このビジネス化の成否が日本の自動車産業生き残りの試金石でもあるからです。

——「物流新幹線」の仕組みについて教えてください。

自動走行時に於いては、車両を高速道路から一般道路に出さずに、ひたすら東京⇄大阪間のターミナルを行き来させます。そして、AI管理で24時間、無人で東京⇄大阪間を自動走行車両が行き来するようにします。将来的には、新幹線網の如く、ネットワークとして展開していくというのが「物流新幹線」計画です。

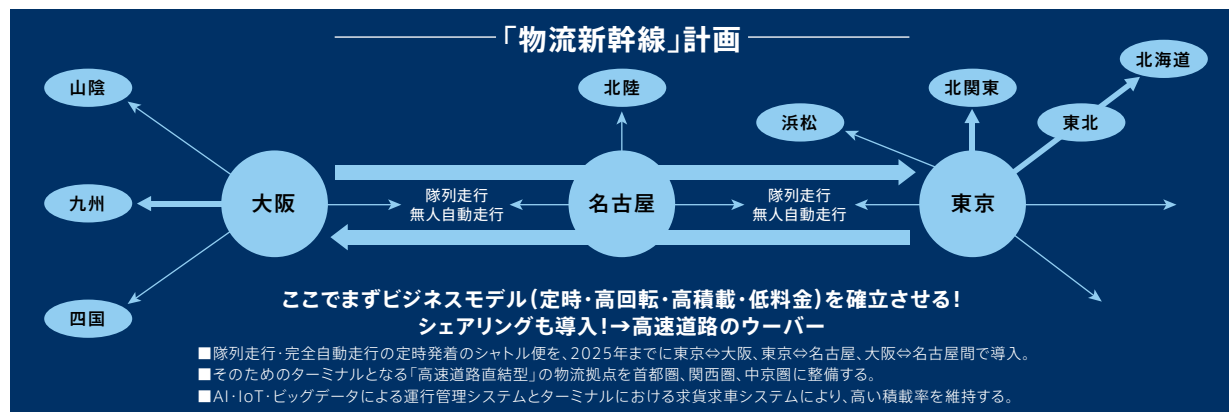
高速道路での完全自動走行には、高速道路・IC直結型での車両受入れ可能な施設整備が不可欠です。時代の流れに対応すべく、

ダブル連結トラック、隊列走行、自動走行の全てに対応可能な高規格高速道路に直結したターミナル施設の整備を行います。

具体的には2022年以降早期に、東京⇄大阪間の東名・新東名、名神・新名神で自動走行による「①定時(24時間ダイヤ)、②低料金(従来比1/2〜1/4)、③高積載率(40%↓80%)」の物流モデルの確立を目指しています。

推進するためには、1.トラックメーカー(走行技術)、2.デベロッパー(ターミナル等インフラ整備)、3.ITシステム企業(運行管理・シェアリング)が団結して三位一体によるプラットフォームの組成を行い、AIやIoT、DSを駆使した業界横断でのコンソーシアム(企業連合)を、オールジャパンで立ち上げることが不可欠と考えています。トラックの隊列・自動走行が実現すれば、ドライバーの負担が軽減され、収益確保もしやすくなるでしょう。隊列・自動走行技術を搭載したトラックへの需要が高まれば、技術開発への資金も流れやすくなり、開発スピードも加速します。

物流生産性の飛躍的改善こそ、全ての産業の国際競争力の底上げにつながると考えています。「第4次産業革命」の本命である隊列・自動走行のビジネス化に関しましては、今後都市計画・都市交通戦略にどのような位置づけていくのかについても、国や自治体と協議しながら進めていくつもりです。



笑いの処方せん



「笑顔が創る健康秘話」

「すると笑いはアトピーも関節リウマチも改善して下さるのですか……」

「そうです。笑うことで誰もが持っている自然治癒力の扉が開き、治す方向にスイッチが入るのです」

「がんや糖尿病についても同様でしょうか」

これは中央FMラジオ番組「明朗とK子の東京発昭和歌物語」の収録風景の1コマである。スタジオ内はいつも笑顔に包まれている。この回のテーマは「統合医療の具体的な案件」だった。その道のゲストを迎えて32年に及ぶ体験談をお聞かせいただいた。

統合医療とは、現代の医学と東洋医学を比較し、双方の優れているところを取り入れ駆使していこうとする医療だ。そのバックグラウンドにあるのは「笑いにより体をリラックスさせ治癒力を高める」ことにあるようだ。

統合医療には漢方や薬膳、ビタミン・ミネラル・アミノ酸などの成長因子を含む馬ブラセンタ、経絡と呼ばれるツボを基盤にした鍼灸、マッサージ、柔道整復、ヨガ、整体なども含まれる。マイナスイオンを利用した温熱療法、磁気で体のバランスをとるマグネタイザー、電子エネルギーを通电してのインナー健康法。更に左脳のストレスを右脳（音楽脳）が和らげてくれる音楽療法。高周波音楽で脳を活発にするオルゴール療法。また

臨床心理学の側面から心の置き場所を探索する0学講座や認知症のリハビリ、タクティールケアもある。そして、笑いと歌、カラオケにも医療効果が認められている。

あらゆる病気の原因は、ATPという生命エネルギーを産成するミトコンドリアの機能不全だと聞く。医学的研究により明らかにされている笑いの効能は大きく3つある。

1つめは免疫機能の正常化だ。

笑うと脳からβエンドルフィンが大量に分泌され、それがNK細胞を増進活性化させる。笑いこそNK細胞の栄養源。笑いががんの予防や治癒につながるという仕組みだ。

2つめは血圧を下げる効果だ。

現代はストレス社会なので交感神経が優位になりがちで血圧が高めの人が多い。笑うとコルチゾールが分解され、尿中に排泄される。その後副交感神経が優位になるため、血圧が下がる。

3つめは血糖値を下げる効果だ。

当クリニックのロビーに俄か高座を設け断家を招いた。演題は「恋の山手線」。患者8人に始めと終了時の血糖値を測定し、比較したところ、約4割の人の血糖値が抑えられていた。笑いはインスリンなどの血糖降下剤よりはるかに安価で効果的な妙薬であると実感することとなった。

笑いの効能はそれだけにとどまらない。アトピーやリウマチ、花粉症、喘息も目覚ましい改善例がある。笑うことで脳の血流量が増し、活性化されることから、ボケ防止になるとか、セロトニンが放出され、多幸感をもたらされるともいわれている。

落語でも友人との冗談でもいい。腹の底から笑ってみてほしい。ストレス解消や免疫アップにつながり、あなたの心身へ変化をもたらすだろう。昔から「笑いは百薬の長」とか「笑う門には福来る」といわれる。「笑いの医療」こそが21世紀の医療の中枢に来ることを期待してやまない。2019年、皆さんも笑顔で健やかな新春を迎えてほしい。

落語でも友人との冗談でもいい。腹の底から笑ってみてほしい。ストレス解消や免疫アップにつながり、あなたの心身へ変化をもたらすだろう。昔から「笑いは百薬の長」とか「笑う門には福来る」といわれる。「笑いの医療」こそが21世紀の医療の中枢に来ることを期待してやまない。2019年、皆さんも笑顔で健やかな新春を迎えてほしい。



中央FMラジオ番組収録風景

武井こうじ

エッセイスト・作家・医学博士・歯学博士。医療法人芙蓉会病院・武井クリニック理事。東京大学医学部大学院修了。東大病院精神医学講座。東京医科歯科大学病院。武田薬品工業株診療部。伊豆東病院院長。日本作家クラブ会員。モンゴル馬頭琴NAGISA後援会・会長。平成銀座雑学大学・学長。頭頸部がん患者友の会理事。著書に「ユーカラの旅」「事故機のかげに」「棒を振る男」「天才バカボンの外国の人とお話するのだ！初級外国語会話集」「甲子園の栄養学」「一コン2コン・サンコンと世界に旅立とう！」「長生きを科学する栄養講座」「海外旅行必携・急病パスポート」「飛行機野郎の筆筒から出てきた思い出トランプ」「ボケは神様がくれたプレゼント」「健康はおいしい旬の薬膳」など。

少子・超高齢化の加速により、社会保障制度全体の見直しが急務となっている。

従来の医療のあり方を変革させ、予防医学を推し進め、
国民ひとりひとりが医療と自分の体に向き合う社会を作る必要があるのではないか。

本連載では、中央FM84.0MHz Radio Cityの番組で
反響の多かったテーマを選びすぐってお送りしたい。



バス事業拡大に伴う安全対策の強化

年々増加傾向にある訪日観光客向けに、バスの需要は大きいと、
新たな観光バスの企画や高速道路の運行を開始する動きが全国に広がっています。
そこで注目を集めているのが、新型バスの安全性能です。



●前方車を自動追従しドライバーの疲労軽減に貢献するプロキシミティー・コントロール・アシスト(イメージ)とドライバーモニターカメラ(顔認識カメラ)

求められる安全性能と快適性能

2020年開催の東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、訪日観光客は更なる増加が見込まれています。政府は2020年、訪日観光客の受け入れを4000万人にすることを目指すとしています。観光客の70%は個人旅行。リピーターも多く、東京や京都などの観光地だけでなく、近年は地方へ足を延ばす傾向も見られ、利便性の高いバスに注目が集まっています。

輸送の安全確保に向け、バス会社が昨今とりわけ重視しているのが、車両の安全装備です。乗務員の負担軽減を図るため、運行管理や健康管理の徹底などソフト面での取り組みに加え、安全性能と快適性能の高い新型バスを導入することで、ハード面での強化も図り、安心・安全・快適なバスの旅を提供しようという動きが広がっています。

中でも「プロキシミティー・コントロール・アシスト」は、ドライバーの疲労を軽減し、追突事故の抑制にも貢献するとして注目を集めています。

安全対策の導入を積極的に進めている千葉県の小湊鐵道では、成約された新型車両の納車セレモニーが12月7日に富山の三菱ふそうバス製造株式会社で行われました。



石川社長に納車記念キーを手渡す高羅バス事業本部長

2017年に創立100年を迎えた小湊鐵道は、千葉県内の路線・高速バス事業を展開、木更津市と東京・神奈川を結ぶ路線や羽田空港発着の各線も堅調に推移するなど、バス事業が拡大しています。

同社では2017年から2018年にかけて総額12億円を投じ、高速バスの安全対策を進め、現在保有する高速路線バスを全て自動ブレーキ付の車両にすると発表しました。そこで三菱ふそう社製のバスを新型「エアロクイーン」「エアロエース」に切り替えることとなり、2018年3月までに34台が成約されました。

富山での納車セレモニーに出席した小湊鐵道の石川晋平社長は、新型車両への信頼と安全業務への意気込みを語られました。

新型車両の運転席に座り説明を受けた社長は、「安全装備が充実した新車に乗れるってドライバーも喜ぶよ」と笑顔で話していました。

「伊勢神宮 御朱印めぐり旅」

各地のパワースポットを訪ねる開運バス旅が人気を集めています。
今、盛り上がりを見せている平成最後のお伊勢参り。
クラブツーリズム様にとっておきのツアーをご紹介します。



●シーサイドホテル鯨望荘の夕食と露天風呂 ●伊勢湾フェリー、夫婦岩と伊勢神宮・内宮正宮

「平成」最後のお伊勢参り

地元の方からは「お伊勢さん」と呼ばれ、古くから日本人の心のふるさととして信仰を集めている伊勢神宮。正式には「神宮」といい、125の宮社からなる神社です。

今回ご紹介するのは、クラブツーリズムが主催する『伊勢神宮で御朱印がいただける全7社にご案内！伊勢神宮ご朱印めぐりと平成最後のお伊勢参り3日間』。

●ツアーのポイント

・二見興玉神社(夫婦岩)・豊受大神宮(外宮)・皇大神宮(内宮)の正式順所まわります
・伊勢神宮で御朱印がいただける全7社にご案内

・伊勢海老や活アワビなど伊勢の食を堪能できる宿に宿泊



1日目。新都心を7時に出発、バス旅の始まりです。伊良湖港から伊勢湾フェリーに乗り鳥羽港へ。最初の目的地、夫婦岩・二見興玉神社を参拝します。二見浦は、古来より清渚と尊ばれ、伊勢参宮を控えた人々が心身を清めた祓場。現在は神社を参拝し、祓の代わりとしています。

2日目。伊勢神宮へ。「外宮先祭」にならない、衣食住あらゆる産業の守り神「豊受大神」がお祀りされている、豊受大神宮(外宮)から参拝します。鳥居をくぐり、参道を歩くと、清々しい気持ちになり、伊勢神宮にきたことを実感します。

外宮を参拝し、最初の御朱印をいただきたい。月夜見宮、倭姫宮、月読宮を巡り、内宮へ。俗界と聖界との架け橋といわれる宇治橋を渡り、手水舎で身と心を清め、参拝します。

皇大神宮は、皇室の御祖神であり日本人の御祖神である天照大御神をお祀りしています。1300年前から遷宮を繰り返してきた伊勢神宮。神域内の社殿は、日本古来の粹たる建築様式を今に伝えています。

内宮参拝の後は、おかげ横丁を散策、瀧原宮参拝を経て、浜島温泉・シーサイドホテル鯨望荘へ。窓から熊野灘が一望できる、絶好のロケーション。夕食は、豪快に1人1尾の伊勢海老と活アワビの踊り焼き等、伊勢湾の海の幸を存分に味わえます。

3日目。古くから「遥宮」して崇敬を集める伊雑宮を参拝、「お伊勢参り」の締めくくりに伊勢神宮の鬼門を守る、奥之院朝熊岳金剛證寺を参拝、伊勢志摩を後にし帰路に着きます。他力本願ではなく、伊勢という土地の持力をいただきながら、自分の中に眠る力を呼び覚ます、新年に相応しい旅となりました。



寛ぎのバス旅「エアロクイーン」
高速バスでの旅は、バスの快適性も重要になります。最先端の安全装備を搭載し、ゆったりシートの「エアロクイーン」なら、とおきのバス時間をお楽しみいただけます。

※写真提供：観光販売システムズ(伊勢神宮・内宮正宮) ※エアロクイーン写真提供：クラブツーリズム

※記事中でご紹介したツアー情報／コース番号：GJ265 出発日：1/15・27、2/7・28、3/18 料金/49,900円。
詳細はクラブツーリズムホームページ(本文中QRコード)、またはTEL:048-649-8833まで。



写真提供:新潟漁業協同組合

新潟

一度は食べたい！漁港めし

新潟漁業協同組合

新潟漁業協同組合は、2008年1月に新潟県内の中・下越10漁協が合併して誕生した国内屈指の漁協です。「越後柳カレイ」「新潟南蛮エビ」「越後本ズワイ」は新潟を代表する冬の味覚で、これらのブランド化に積極的に取り組んでいます。

今年1月に開港150周年を迎える新潟港。日本海沿岸のほぼ中心にあり、暖・寒流系が交じり合う好漁場を有し、一年を通じて豊富な魚に恵まれています。新潟漁協直営の「地魚工房」では、水揚げされたばかりの新鮮な旬の地魚と、地魚の加工品を販売しています。

「特盛海鮮丼（新潟南蛮エビ味噌汁付き）」は、新鮮なネタ7品をのせたボリュームある一品。「新潟南蛮エビ」とは、正式名称を「ホッコクアカエビ」といい、一般には「甘エビ」として知られています。冬場は特に甘みが増し、とろけるような味わいに。

地魚を使った加工品の中では、「新潟南蛮エビ」で作った魚醤油がおすす。魚介たっぷりオリジナル「シーフードカレー」は、この魚醤油とだし汁を隠し味に効かせています。



「一度は食べたい！漁港めし」は「漁村情報発信ポータルサイト」とタイアップしています。こちらのサイトも併せてご覧ください。
http://nagisa-portal.jp/?page_id=640

■地魚工房

新潟市中央区万代島2番1号
新潟県水産会館1F
営業時間／平 日 9:30～15:30 (LO15:00)
土日祝 9:00～15:30 (LO15:00)
定休日／火曜日



From Editors

アンケートにご協力いただいた方に
FUSOオリジナルグッズをプレゼント！

■プレゼント賞品

エアロエース 1/43 ダイキャスト **19名**
2019年にちなんだ、19名の読者に差し上げます。



■応募締切

締切は **2月28日(木)**

当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。
(発送は3月中旬を予定)

■応募方法

プレゼントご希望の方は、下記の方法よりご応募ください。

◎PCから

FUSO公式サイト▶ニュース＆メディア

▶FUSO magazine▶ アンケートはこちらへ

※「FUSO magazine」のバックナンバーもこちらのURLからご覧いただけます。
バックナンバーをご希望の方は、ご希望の号をお知らせ下さい。

◎スマートフォンから



◎FAX/ハガキから

〈1〉～〈5〉を明記の上、下記までふるってご応募下さい。

〈1〉今月号で面白かった記事(次の中から選択し、番号をご記入下さい)

- ①Our Pride ②特集1 信頼の絆をつなげる
③特集2 「物流新幹線」計画 ④街角クリニック
⑤ゆらりバス時間 ⑥小湊鐵道
⑦Front's Eyes ⑧一度は食べたい！漁港めし

〈2〉「FUSO magazine」で取り上げてほしいテーマ

〈3〉健康維持のためにどのようなことを行っていますか？

〈4〉三菱ふそうへのご意見・ご要望

〈5〉お客様情報(氏名、〒、住所※自宅か勤務先かを明記、TEL、メールアドレス)

ご職業(次の中から該当番号をご記入下さい)

- ①会社役員 ②管理職 ③ドライバー ④運行管理 ⑤事務 ⑥その他

■応募先

「FUSO magazine」編集部 〒104-0041 東京都中央区新富1-13-21ヤマト第一ビル4F(双樹社内)
E mail: fuso.magazine@sohjusha.jp FAX: 03-3555-1911

■お問合せ先

TEL: 03-3555-3114 (「FUSO magazine」編集部)

次号は3月1日発行予定です。

※ご記入いただきました内容は、「FUSO magazine」誌面充実のためにのみ、利用させていただき、ご本人の同意なく、個人情報第三者に開示することはいたしません。個人情報に関するお取り扱いにつきましては、三菱ふそうトラック・バスのホームページをご覧ください。

安全と快適な走行のために

「運行前には必ず点検を」

車を運行する際は、安全確認のために必ず日常点検(運行前)を行いましょう。点検作業は、運転席に座る、エンジンルームをのぞく、車の周りを回りながら確認するなど、簡単に行えます。きちんとした点検整備を行うことで、総合的にみたコストの削減も図れますので、忘れずにチェックしましょう。

まず最初に!

●前日または前回の運転中に異常を認めた箇所は、運行に支障がないかを必ず点検します。

※日常点検(運行前)とは、法令で決められた項目です。運行前に必ず点検を行いましょう。



運転席での点検		
ブレーキペダル (バキュームサーボブレーキ車)	踏みしろ	
	ブレーキの効き	
ブレーキバルブ (エアオーバー車、エアブレーキ車)	踏みしろ	
	ブレーキの効き	
	排気音	
駐車ブレーキレバー	引きしろ (ホイール・パーク式ではエアの排気音)	
エンジン	かかり具合と異音※	
	低速及び加速状態※	
空気圧力計 (エアオーバー車、エアブレーキ車)	空気圧力の上り具合	
	空気圧力	
ブレーキのリザーバタンク (バキュームサーボブレーキ車)	液 量	
ウィンドウォッシャ 及びワイパー	ウィンドウォッシャの 液量と噴射状態※	
	ワイパーのふき取り状態※	
座席 (バス)	シートの損傷、取付状態	

エンジンルームの点検		
ラジエータなどの冷却装置	水 量※	
潤滑装置	エンジンオイルの量※	
ファンベルト	張り具合※	
	損 傷※	
ファンドライブシステム (バス)	油漏れ、損傷、異音、 取付状態※	

車の周りから			
ホイール ・車両総重量8t以上 ・乗車定員30人以上	ナット	脱落、緩み	
		錆汁	
	ボルト	折損、錆汁	
		ホイールナットからの 突出量が均一か	
	ホイール	亀裂、折傷、錆汁	
タイヤ		空気圧	
		亀裂、損傷	
		異常な摩耗	
		金属片、石などの異物	
		溝の深さ※	
プレヒーター (プレヒーター付車)		水や燃料漏れ(バス)	
灯火装置・ 方向指示器		点灯、点滅具合	
		汚れ、損傷	
		超音波センサの汚れ、損傷 (レベリングシステム付車)	
バッテリー		液 量※	
エアタンク (エアオーバー車、エアブレーキ車)		タンク内の凝水	
ブレーキのリザーバタンク (エアオーバー車)		液 量※	
カプラ (トラクター)		汚れ、グリスの塗付	

※走行距離及び運行時の状態等から判断した適切な時期に行ってください。

警告

点検時は、換気の悪い場所などではエンジンをかけたままにしないでください。
特に車庫や屋内など、囲まれた場所では排気ガスにより一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

車種・モデルにより点検方法が異なります。詳しくは各車両の取扱説明書をご確認の上、忘れずに日常点検・交換を行ってください。

点検・整備についてご不明点などございましたら、お近くの三菱ふそうサービス工場にお問い合わせください。

がんばれ！
ふそうを支えるプロフェッショナル。

去年の正月に生まれた娘も、最近はずかまり立ちが出来る様になり、日まじに可愛くなってきた。田舎のお袋は「おまえじゃなくて、母親似で良かったね」って言うけど、切れ長のつばな目はオレに似てると思うんだけどな。

去年のもうひとつのニュースと言えば、念願の1級整備士の資格が取れたことだ。二十歳で働き始めて苦節十年、仕事の合間を縫って講習を受けるのは大変だったけど、がみさんや生まれてくる子供のために・・・なんて。お前らしくないって友達には言われるけど、オレだってやる時にはやるんだヨ！

「人生、いつかはやらなきゃいけない時が来るんだ。それを先々に延ばしていたら、いつまでたっても先に進めない」って社長も言っていた。何となく今かもしれないと思って勉強を始めたけど、今ではやって良かったと思ってるよ。

オレたちの仕事は地味に見えるかもしれないけど、「安心・安全・快適」を支える基礎作業で、タイヤやナットをハンマーでたたき感触だけで車の調子が分かるんだ。

毎朝家を出るときに、ベビーカーのタイヤをたたいて「今日も元気で安全にー」って願掛けしてるんだ。

次の「やる時」は何時だろう？

シートベルトをして、地球にやさしいエコドライブを。

写真はイメージです。

トラック・バスのお問い合わせは、三菱ふそう販売店へ



三菱ふそう / FUSO Japan

<https://www.facebook.com/FusoOfficial/>



三菱ふそう
公式チャンネル

<http://www.youtube.com/user/Fusoofficial>



三菱ふそうトラック・バス株式会社
www.mitsubishi-fuso.com

FUSO magazine
2019 1・2月号 (No.67)

発行 三菱ふそうトラック・バス株式会社 〒212-0058 神奈川県横浜市幸区鹿島田1-1-2
企画・編集 FUSO magazine 事務局 〒104-0041 東京都中央区新富1-13-21ヤマト第一ビル4階(双樹社内) TEL03-3555-3114 印刷・製本 富士ゼロックスサービスマン株式会社